



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月30日

上場会社名 株式会社IMAGICA GROUP 上場取引所 東
コード番号 6879 URL <https://www.imagicagroup.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 長瀬 俊二郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 森田 正和 TEL 03-5777-6295
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	20,060	△15.7	△544	—	△498	—	△519	—
2024年3月期第1四半期	23,797	19.8	345	27.2	394	28.9	305	474.5

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 25百万円(△95.9%) 2024年3月期第1四半期 631百万円(△14.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△11.76	—
2024年3月期第1四半期	6.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	77,030	39,213	48.4
2024年3月期	78,694	39,906	48.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 37,244百万円 2024年3月期 37,828百万円

(注) 当第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	△1.7	3,700	△5.7	3,200	△14.2	2,000	△15.7	45.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	44,741,467株	2024年3月期	44,741,467株
2025年3月期1Q	541,346株	2024年3月期	541,346株
2025年3月期1Q	44,200,121株	2024年3月期1Q	44,585,425株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

①当第1四半期連結累計期間の概況

当連結会計年度は「成長路線の拡大と事業変革の推進」と位置づけ、事業拡大を目指す成長事業(ゲーム関連事業、IP創出、ハイスピードカメラ事業)と、収益改善に取り組む変革事業(グローバルE2E事業、TV関連事業)に注力して事業運営を推進しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は200億60百万円(前年同四半期比15.7%減)、営業損失は5億44百万円(前年同四半期は営業利益3億45百万円)、経常損失は4億98百万円(前年同四半期は経常利益3億94百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失については、5億19百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益3億5百万円)となりました。

②セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

1)映像コンテンツ事業

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は53億45百万円(前年同四半期比25.4%減)、営業利益は4億81百万円(前年同四半期比863.8%増)となりました。

劇場映画・ドラマ作品は、前年度に大型作品を複数計上した反動により減収となりました。一方、CM制作はTV向けの受注が堅調に推移したこと、アニメーション作品は動画配信向けのCGアニメーション作品やTVシリーズの受注が好調により、それぞれ増収となりました。また出版事業は「薬屋のひとりごと」の原作小説や、コミックスの販売が好調なことに加え、TVアニメ制作委員会からの配分金収入等を計上したことにより増収増益となりました。

これらにより、映像コンテンツ事業全体として減収も大幅な増益となりました。

2)映像制作技術サービス事業

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は115億71百万円(前年同四半期比12.3%減)、営業損失は10億16百万円(前年同四半期は営業利益3億21百万円)となりました。

国内のE2Eサービス^{*1}においては、映画向けの編集サービスやデジタルシネマ向けサービス等が堅調なことにより増収となりました。

海外のE2Eサービス^{*1}においては、米国ハリウッドにおける脚本家・俳優組合のストライキ影響により新作の制作遅延が発生し、主にローカライズの受注が苦戦したことで減収となりました。また減収に伴う粗利益の減少等により大幅な減益となりました。

ゲーム関連事業^{*2}においては、制作体制の規模を拡大しゲームの3DCG制作の受注が増加したこと等により増収となりました。

一方で、TV向けポストプロダクションサービスは、TV業界を取り巻く環境の変化もあり、受注が低調に推移し減収となりました。

これらにより、映像制作技術サービス事業全体は減収減益となりました。

※1：E2Eサービス：End to End。映画・ドラマ・アニメーション等の映像コンテンツを制作するポストプロダクションから、それらを劇場、テレビ、インターネットを介した動画配信などあらゆるメディアで流通させるために必要なローカライズ(吹替、字幕制作)、ディストリビューション(流通)のためのメディアサービスまでをワンストップで提供するサービスの総称。なお、海外のE2Eサービスの業績につきましては、決算日が12月31日であるため、当第1四半期連結累計期間には2024年1月1日～2024年3月31日の実績を反映しております。

※2：ゲーム関連事業：2D/3DCG制作、デバッグ・ソフトウェアテスト、ゲーム人材派遣・紹介等。

3)映像システム事業

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は35億79百万円(前年同四半期比7.8%減)、営業利益は3億25百万円(前年同四半期比27.0%増)となりました。

ハイスピードカメラは、特に欧州において自動車向けの出荷が堅調に推移したことに加え、円安影響もあり増収となりました。放送映像システムは前年度に大型案件を計上した反動により減収、また映像・画像処理LSIは国内の顧客の在庫調整により受注の回復が遅れており減収となりました。

これらにより、映像システム事業全体は減収増益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

2024年2月8日に行われたmediafellows GmbH及びその子会社1社との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間において確定したため、前連結会計年度との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額を用いております。

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13億45百万円(3.3%)減少し、399億43百万円となりました。

これは主に、棚卸資産並びに現金及び預金が増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3億18百万円(0.9%)減少し、370億86百万円となりました。

これは主に、リース資産が減少したことによるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて16億64百万円(2.1%)減少し、770億30百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2億11百万円(0.7%)減少し、287億39百万円となりました。

これは主に、契約負債が増加した一方で、支払手形及び買掛金、並びに未払法人税等が減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7億60百万円(7.7%)減少し、90億77百万円となりました。

これは主に、リース債務及び長期借入金が増加したことによるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9億71百万円(2.5%)減少し、378億16百万円となりました。

③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて6億92百万円(1.7%)減少し、392億13百万円となりました。

これは主に、為替換算調整勘定が増加した一方で、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の業績予想につきましては、2024年5月9日に公表した数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,242,625	5,961,426
受取手形、売掛金及び契約資産	20,572,387	15,890,875
棚卸資産	11,536,441	13,676,496
その他	3,997,518	4,460,982
貸倒引当金	△60,000	△46,058
流動資産合計	41,288,972	39,943,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,081,194	13,109,118
減価償却累計額	△8,155,338	△8,328,961
減損損失累計額	△598,722	△598,722
建物及び構築物（純額）	4,327,134	4,181,433
機械装置及び運搬具	5,904,211	5,932,296
減価償却累計額	△5,212,534	△5,247,658
減損損失累計額	△137,053	△137,053
機械装置及び運搬具（純額）	554,623	547,585
土地	921,363	921,363
リース資産	5,411,365	5,039,722
減価償却累計額	△734,703	△800,296
減損損失累計額	△89,060	△87,503
リース資産（純額）	4,587,602	4,151,922
建設仮勘定	1,516,451	1,360,554
その他	9,016,129	9,342,976
減価償却累計額	△6,303,911	△6,602,769
減損損失累計額	△125,339	△123,791
その他（純額）	2,586,878	2,616,415
有形固定資産合計	14,494,052	13,779,274
無形固定資産		
のれん	11,411,410	11,719,889
その他	3,096,544	3,233,265
無形固定資産合計	14,507,955	14,953,154
投資その他の資産		
投資有価証券	3,081,638	2,841,849
関係会社株式	1,480,535	1,480,535
敷金及び保証金	2,000,866	1,972,614
繰延税金資産	1,672,072	1,864,542
その他	326,433	350,647
貸倒引当金	△157,899	△155,825
投資その他の資産合計	8,403,647	8,354,364
固定資産合計	37,405,654	37,086,793
資産合計	78,694,627	77,030,516

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,799,221	5,455,321
短期借入金	5,143,423	6,790,889
リース債務	983,578	959,312
未払金	2,530,291	2,274,726
未払法人税等	1,432,145	254,290
契約負債	4,886,312	6,885,320
賞与引当金	1,393,870	718,632
受注損失引当金	11,380	815
その他	5,770,083	5,399,907
流動負債合計	28,950,308	28,739,215
固定負債		
長期借入金	3,120,478	2,797,123
リース債務	4,015,709	3,538,809
長期末払金	519,874	533,650
繰延税金負債	214,227	219,955
退職給付に係る負債	1,219,274	1,237,948
資産除去債務	667,624	672,360
その他	80,746	77,497
固定負債合計	9,837,935	9,077,345
負債合計	38,788,243	37,816,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,306,002	3,306,002
資本剰余金	12,149,768	12,150,230
利益剰余金	18,686,599	17,515,296
自己株式	△411,354	△411,354
株主資本合計	33,731,016	32,560,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,076,431	896,927
繰延ヘッジ損益	30,654	22,644
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	3,024,687	3,797,806
退職給付に係る調整累計額	△16,227	△15,032
その他の包括利益累計額合計	4,097,613	4,684,413
非支配株主持分	2,077,752	1,969,366
純資産合計	39,906,383	39,213,955
負債純資産合計	78,694,627	77,030,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	23,797,342	20,060,758
売上原価	17,586,453	14,173,666
売上総利益	6,210,888	5,887,091
販売費及び一般管理費	5,865,674	6,431,508
営業利益又は営業損失(△)	345,213	△544,416
営業外収益		
受取利息	2,391	4,323
受取配当金	21,266	19,851
為替差益	170,071	129,440
その他	39,113	46,252
営業外収益合計	232,843	199,867
営業外費用		
支払利息	89,428	126,172
持分法による投資損失	2,370	—
その他	91,473	27,480
営業外費用合計	183,272	153,652
経常利益又は経常損失(△)	394,784	△498,201
特別利益		
固定資産売却益	93	10
投資有価証券売却益	280,984	—
特別利益合計	281,077	10
特別損失		
固定資産除却損	1,277	412
特別損失合計	1,277	412
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	674,583	△498,603
法人税等	161,553	67,881
四半期純利益又は四半期純損失(△)	513,029	△566,485
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	207,244	△46,670
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	305,784	△519,814

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	513,029	△566,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168,642	△167,990
繰延ヘッジ損益	17,649	△8,009
為替換算調整勘定	△67,861	766,950
退職給付に係る調整額	△318	1,194
その他の包括利益合計	118,112	592,144
四半期包括利益	631,141	25,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	425,777	78,498
非支配株主に係る四半期包括利益	205,364	△52,839

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 技術サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	7,151,041	12,918,776	3,725,318	23,795,136	2,205	23,797,342
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	15,772	281,228	158,188	455,189	△455,189	—
計	7,166,814	13,200,005	3,883,507	24,250,326	△452,984	23,797,342
セグメント利益	49,989	321,173	256,490	627,653	△282,439	345,213

(注) 1. セグメント利益の調整額△282,439千円は、当社に係る損益1,332,343千円及びセグメント間取引消去△1,614,783千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 技術サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	5,344,945	11,271,318	3,430,645	20,046,909	13,848	20,060,758
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	595	299,828	148,905	449,329	△449,329	—
計	5,345,541	11,571,146	3,579,551	20,496,239	△435,481	20,060,758
セグメント利益 又は損失(△)	481,796	△1,016,973	325,734	△209,442	△334,973	△544,416

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△334,973千円は、当社に係る損益1,982,477千円及びセグメント間取引消去△2,317,451千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	645,840千円	840,117千円
のれんの償却額	390,973 "	443,964 "